



令和5年 第4回苅田町議会定例会

町政報告

遠田町長は令和5年苅田町議会6月定例会開会日の6月7日、次のように町政報告を行いました。(文字数の関係で内容を一部省略しています)

トピックス① 新型コロナウイルス

5月8日をもって、新型コロナウイルス感染症が5類となり、マスクの着用など基本的感染症対策を一律に求めることはなくなりしました。

ワクチン接種に関しては、5月より接種会場をパンジープラザに移して実施しており、令和6年3月までは無料で接種できます。初回接種終了率は5月末時点で12歳以上が86・2%、5歳から11歳が18・2%、6か月から4歳が2・4%となっています。

初回接種は令和6年3月31日まで引き続き実施し、追加接種は5月から8月に行う春接種と、9月から12月に行う秋接種の2回実施となります。

ただし、春接種対象者は、65歳以上の高齢者と基礎疾患を有する方、医療及び介護従事者の方のみとなり、秋接種は5歳以上のすべての町民の方が対象となります。

トピックス② パートナーシップ宣誓制度

4月1日から「苅田町パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度」の運用を開始し、同日付で福岡県と「パートナーシップ宣誓制度に関する協定」を締結しました。これにより、福岡県と佐賀県内で制度を導入しているすべての自治体間で包括的に連携ができるようになります。

また、5月10日に苅田町で第1号となるカップルが宣誓書の署名を行い、宣誓書受領証と受領カードの交付を、町長室で行いました。お二人は、自分たちの関係が公的に認められ、とても喜んでおられました。

今後も性的マイノリティの問題に限らず、様々な人権問題の解決に取り組んでまいります。

トピックス③ DXの進捗

国の自治体DX推進計画に基づき、苅田町においてもデジタル技術を活用して「住民サービ

スの利便性向上」や「業務の効率化」に取り組むこととしていきます。

「住民サービスの利便性向上」の取り組みとしては、いつでも来庁することなく各種の行政手続きが行える「苅田町デジタル窓口」を町のホームページに公開し、公共施設オンライン予約や電子申請を行えるようにしています。

また、住民異動などの手続きにおいて、質問に答えるだけでなく、その方に応じた手続きや持ち物を案内する手続きガイドの運用を行っています。

令和4年度の実績としましては、電子申請件数が3268件となり、手続きを行った方からも、好意的な意見をいただいています。

「業務の効率化」の取り組みとしては、4月から、紙の契約書を電子契約書に切り換える電子契約サービスを導入し、6月から、文書管理や財務会計のシステムに電子決裁を導入するなど、公文書の電子化を進めています。

トピックス④ 苅田小 放課後児童クラブ

放課後児童健全育成事業として、令和4年9月に着工した苅田小学校放課後児童クラブ施設が5月末に完成し、6月1日から運営を開始しています。これにより、定員が増員され、受入超過・待機児童の解消が可能となりました。



▲新設された苅田小の児童クラブ

トピックス⑤ 農業公社

農業公社について、4月26日の臨時株主総会で解散決議をし、清算人の選任を行いました。その後5月17日に官報に掲載をし、清算の手続きに入りました。

なお、令和6年3月で清算終了の予定となっています。

トピックス⑥ 北九州空港

国の令和5年度予算において、滑走路延長事業が事業採択されました。現在の2500mの滑走路を苅田町側に500m延長するもので、令和9年度中の供用開始を目指しており、完成すれば北九州と欧米を直接結ぶ大型貨物機の運航が可能となり、貨物拠点としての機能強化が期待されます。

昨年度の旅客便の利用者は国内線、国際線合わせて84万人で、前年度より36万人の増加となりました。

国の全国旅行支援による旅行需要の回復や国の水際対策の緩和により、秋以降順調に利用者が増え、秋以降順調に利用者が増え、5月8日からジンエアーによる韓国仁川線が3年2ヶ月ぶりに運航を再開し、当日は関係者による記念セレモニーと歓迎イベントが行われました。



▲北九州-ソウル線運航再開の記念セレモニー

今後も、国や県、北九州市と連携しながら、路線誘致、利用促進などのPR活動に取り組んでまいります。

トピックス⑦ 苅田港の整備

国の令和5年度予算において、新松山地区に新たに水深12mの岸壁の整備と併せ、本航路の水深13mへの増深、泊地の整備事業費として、17億円が計上され、今後整備がすすめられる予定となっています。

船舶の大型化に対応した整備をすることで、一括大量輸送による輸送コストの削減を実現し、

周辺企業の国際競争力の強化、地域経済の活性化や雇用創出、環境への負担軽減に寄与することが期待されます。

トピックス⑧ 研修員の受け入れ終了 新規採用職員

令和3年度から4年度にかけて、スターフライヤー社から2名、JR九州から3名を研修員として派遣いただいておりますが、3月31日をもって終了しました。派遣いただいた職員には、新型コロナウイルススまん延防止対策や、ワクチン接種など、新たに増加した町の業務遂行に尽力いただき、加えて、民間企業の接遇スキルや知識を町職員として発揮いただくことで、町民サービスの向上にもつながったと考えています。

また、この派遣終了による人員減や再任用職員の減と、増加する行政課題に対応するものとして、4月に職員12名を新たに採用しました。

※行事報告は省略しました。